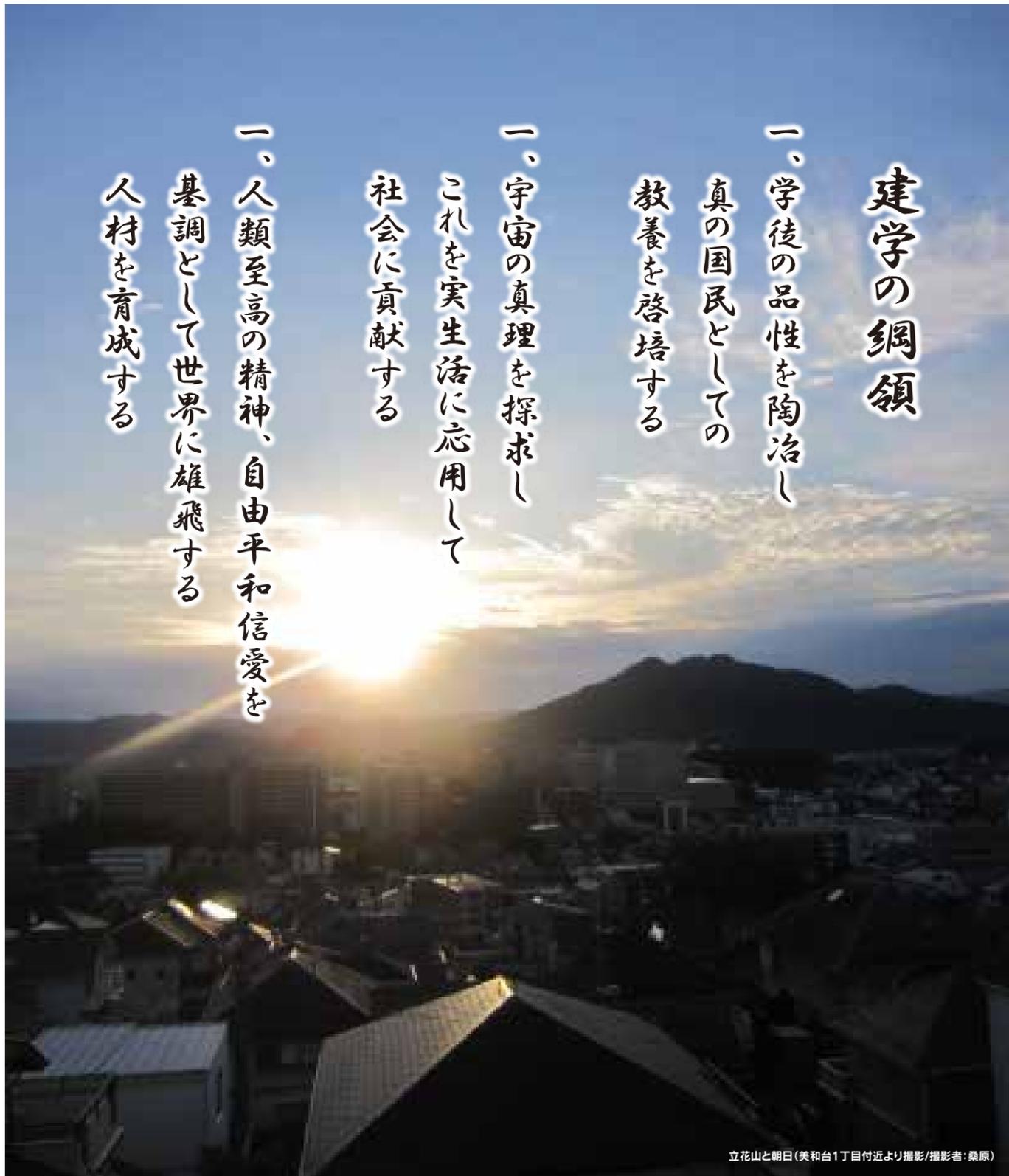


# 雄飛

一般社団法人 雄飛会  
(福岡工業大学同窓会)会報 **vol. 27**

発行 一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)/会報編集委員会  
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1  
TEL/FAX .....092-608-5982  
E-mail .....dousoukai@fit.ac.jp  
URL .....http://www.fit.ac.jp/dousoukai/



## 建学の綱領

一、学徒の品性を陶冶し  
真の国民としての  
教養を啓培する

一、宇宙の真理を探求し  
これを実生活に応用して  
社会に貢献する

一、人類至高の精神、自由平和信愛を  
基調として世界に雄飛する  
人材を育成する

立花山と朝日(美和台1丁目付近より撮影/撮影者:桑原)

## 決算・予算報告

| 令和元年度決算 令和元年度収支計算書(H31.4.1~R2.3.31) 単位:円 |             |         |             |
|--|-------------|---------|-------------|
| 収入の部                                     |             | 支出の部    |             |
| 科目                                       | 金額          | 科目      | 金額          |
| 会費                                       | 22,100,000  | 大会費     | 0           |
| 雑収入                                      | 67,824      | 理事会費    | 732,945     |
| 前年度預り金                                   | △2,590      | 企画・広報費  | 4,123,540   |
| 当年度預り金                                   | 2,790       | 組織支援費   | 4,405,933   |
| 年度収入合計                                   | 22,168,024  | 学生支援費   | 1,113,840   |
| 前年度繰越金                                   | 102,533,832 | 事務局費    | 6,290,982   |
|  |             | 特別記念事業費 | 13,000,000  |
|  |             | 予備費     | 409,729     |
|  |             | 年度支出合計  | 30,076,969  |
|  |             | 次年度繰越金  | 94,624,887  |
| 収入合計                                     | 124,701,856 | 支出合計    | 124,701,856 |

| 令和元年度貸借対照表(R2.3.31現在) 単位:円 |            |            |             |
|----------------------------|------------|------------|-------------|
| 資産の部                       |            | 繰越金の部      |             |
| 科目                         | 金額         | 科目         | 金額          |
| 現金                         | 125,289    | 預り金        | 2,790       |
| 普通預貯金                      | 27,199,598 | 前期繰越正味財産   | 102,531,042 |
| 定期預貯金                      | 67,300,000 | 任意積立金      | 94,332,880  |
|                            |            | 特別記念事業費積立金 | 8,198,162   |
|                            |            | 当期正味財産増減額  | △7,908,945  |
| 合計                         | 94,624,887 | 合計         | 94,624,887  |

\*任意積立金は基本金、動向調査費積立金、同窓会館建設費積立金等の項目を合算表示しています。

| 期中増減額(H31.4.1~R2.3.31) 単位:円 |             |            |            |
|-----------------------------|-------------|------------|------------|
| 区分                          | H31.4.1現在   | 期中の増減      | R2.3.31現在  |
| 現金・普通預貯金                    | 35,233,832  | △7,908,945 | 27,324,887 |
| 定期預貯金                       | 67,300,000  | 0          | 67,300,000 |
| 合計                          | 102,533,832 | △7,908,945 | 94,624,887 |



| 令和2年度予算 令和2年度収支予算(R2.4.1~R3.3.31) 単位:円 |             |               |             |
|--|-------------|---------------|-------------|
| 収入の部                                   |             | 支出の部          |             |
| 科目                                     | 金額          | 科目            | 金額          |
| 会費                                     | 20,560,000  | 大会費           | 2,000,000   |
| 雑収入                                    | 15,000      | 理事会費          | 370,000     |
| R1年度預り金                                | △2,790      | 企画・広報費        | 4,200,000   |
| R2年度預り金                                | 2,790       | 組織支援費         | 3,800,000   |
| 年度収入合計                                 | 20,575,000  | 学生支援費         | 9,000,000   |
| 前年度繰越金                                 | 94,624,887  | FIT Museum事業費 | 4,900,000   |
|  |             | 事務局費          | 5,241,000   |
|  |             | 特別記念事業費       | 0           |
|  |             | 予備費           | 1,000,000   |
|  |             | 年度支出合計        | 30,511,000  |
|  |             | 次年度繰越金        | 84,688,887  |
| 収入合計                                   | 115,199,887 | 支出合計          | 115,199,887 |

## 令和2年度 代議員一覧 (令和2年6月~)

| 氏名     | 卒年科   | 役職    | 専門部会                | 選出地域      |
|--------|-------|-------|---------------------|-----------|
| 小柳 辰生  | 70 電子 | 会長    |                     | 福岡支部      |
| 米倉 和實  | 70 電子 | 副会長   | 企画・広報部              | 福岡支部      |
| 桑原 雅浩  | 83 電気 | 事務局長  |                     | 福岡県       |
| 本行 義洋  | 84 通信 | 事務局次長 | 組織支援部               | 福岡県       |
| 田中 陸教  | 66 電子 | 理事    |                     | 福岡支部      |
| 外山 吉計  | 71 通信 | 理事    | 財務部兼 FIT MUSEUM 事業部 | 筑後支部      |
| 楠本 總幸  | 71 通信 | 理事    | 学生支援部               | 福岡支部      |
| 齋藤 文親  | 67 電子 | 監事    |                     | 福岡県       |
| 松尾 正博  | 69 電子 | 監事    |                     | 福岡県       |
| 滝石 義礼  | 76 電気 |       |                     | 関東ブロック    |
| 石黒 佳一郎 | 72 通信 |       |                     | 関東ブロック    |
| 石田 裕人  | 79 電子 |       |                     | 東海ブロック    |
| 大明 孝雄  | 70 電子 |       |                     | 関西ブロック    |
| 川谷 伸一  | 90 機械 |       |                     | 関西ブロック    |
| 藤本 正宏  | 79 電子 |       |                     | 中国ブロック    |
| 岩岡 一平  | 85 材料 |       |                     | 四国ブロック    |
| 小口 幸一  | 71 電子 |       |                     | 福岡支部      |
| 森田 寛司  | 72 電子 |       |                     | 福岡支部      |
| 小柳 礼二郎 | 74 電子 |       |                     | 北九州支部     |
| 出水 貴之  | 00 情報 |       |                     | 筑豊支部      |
| 柴田 廣樹  | 73 通信 |       |                     | 長崎・佐賀・大分  |
| 増水 紀勝  | 67 電子 |       |                     | 熊本・宮崎・鹿児島 |
| 宮城 洋一  | 75 通信 |       |                     | 沖縄県支部     |
| 橋 豊文   | 69 電子 |       |                     | 福岡県       |
| 松尾 一壽  | 71 電子 |       |                     | 福岡県       |
| 小松 時浩  | 86 管理 |       | 組織支援部               | 福岡県       |
| 藤野 和美  | 92 電気 |       | 企画・広報部              | 福岡県       |
| 笹原 文仁  | 07 通信 |       | 学生支援部               | 福岡県       |
| 矢羽 田誠一 | 69 短大 |       |                     | 福岡県       |
| 倉光 真紀  | 92 短大 |       |                     | 福岡県       |
| 百原 武敏  | 67 電子 | 相談役   |                     |           |

## 事務局より

**1. 募金・名簿などの勧誘について**  
民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告を掲載したいので寄付して欲しい」という趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額のようです。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑を発行するので、あなたの情報を提供して欲しい」という勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意ください。

**2. 異動の連絡をお願いします。**  
毎年発行される会報「雄飛」や交流会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださると幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール・FAX・葉書でも受け付けております。  
※異動(転居)がなくても、会報「雄飛」等が届かない場合は同窓会事務局まで「報ください」。

**3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。**  
同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他「質問」要望などごなんでも結構ですので、ご一しお寄せください。

【連絡先】  
一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)事務局  
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1  
TEL 092-608-5982(直通)  
FAX 092-608-5982  
e-mail dousoukai@fit.ac.jp

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響により社会活動が自粛を余儀なくされる中「雄飛」もページ数を縮小し、何とか発行することができました。これもひとえに皆様方の御協力のおかげと感謝申し上げます。今後もコロナ禍が続くと思われるので、皆様方におかれましては健康に十分注意され次回の交流会(広島)で元気に会いすることを楽しみにしております。

**予告** 福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会) 交流会 開催予定のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により延期になっておりました、**同窓会交流会(広島県広島市 広島ガーデンパレス)を「令和3年6月19日(土)12時～」**に開催する予定となりました。

※開催が決定しましたら、例年通り4月下旬～5月上旬に「同窓会交流会のご案内」を送付いたします。  
 なお、開催中止または延期の場合は、同窓会ホームページ上にてご案内いたします。郵送等の個別の連絡は行わない予定です。予めご了承ください。

福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)支部一覧 (令和2年12月現在)

全国に25のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動を行っています。あなたが所属する支部から「支部総会」等の案内が届きましたら、同窓生を誘って世代を超えた出合いの時間を過ごしてください。

| 本支部名(ブロック) | 本支部長名(敬称略)   | エリア内訳   |
|------------|--------------|---|
| 北海道支部      | 有松 義勝(71・通信) | 北海道全域   |
| 関東本部       | 滝石 義礼(76・電気) | 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県  |
| 東海本部       | 石田 裕人(79・電子) | 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県   |
| 関西本部       | 大明 孝雄(70・電子) | 富山県・石川県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県  |
| 中国ブロック     |              |   |
| 鳥取県支部      | 金川 純(77・電気)  | 鳥取県全域   |
| 島根県支部      | 澤田 一(74・材料)  | 島根県全域   |
| 岡山県支部      | 名合 憲司(81・通信) | 岡山県全域   |
| 広島県東支部     | 藤井 敏博(74・管理) | 福山市・尾道市・三原市・府中市・庄原市・竹原市・安芸高田市・江田島市・安芸郡府中町・安芸郡海田町・安芸郡熊野町・安芸郡坂町・豊田郡大崎上島町・山県郡安芸太田町・山県郡北広島町 |
| 広島県西支部     | 藤本 正宏(79・電子) |   |
| 山口県支部      | 小畑 太郎(78・電気) | 山口県全域   |
| 徳島県支部      | 羽坂 敏弘(75・電子) | 徳島県全域   |
| 香川県支部      | 山地 正博(76・電気) | 香川県全域   |
| 愛媛県支部      | 岩岡 一平(85・材料) | 愛媛県全域   |
| 高知県支部      | 山本 俊平(78・電子) | 高知県全域   |
| 四国ブロック     |              |   |

| 本支部名(ブロック) | 本支部長名(敬称略)    | エリア内訳  |
|------------|---------------|--|
| 福岡県支部      | 小口 幸一(71・電子)  | 福岡市・春日市・太宰府市・大野城市・筑紫野市・糸島市・古賀市・宗像市・福津市・糟屋郡宇美町・糟屋郡粕屋町・糟屋郡篠栗町・糟屋郡志免町・糟屋郡久山町・糟屋郡新宮町・糟屋郡須恵町・那珂川市 |
| 福岡九州支部     | 木村 征洋(67・電子)  | 北九州市・中間市・行橋市・豊前市・遠賀郡芦屋町・遠賀郡岡垣町・遠賀郡遠賀町・遠賀郡水巻町・京都郡苅田町・京都郡みやこ町・築上郡上毛町・築上郡築上町・築上郡吉富町             |
| 福岡筑後支部     | 西山 友幸(71・電気)  | 久留米市・小郡市・朝倉市・八女市・大牟田市・柳川市・大川市・筑後市・うきは市・みやま市・朝倉郡筑前町・朝倉郡東峰村・三井郡大刀洗町・三浦郡大木町・八女郡広川町              |
| 福岡筑豊支部     | 出水 貴之(00・情報)  | 飯塚市・田川市・直方市・嘉麻市・宮若市・嘉穂郡桂川町・鞍手郡鞍手町・鞍手郡小竹町・田川郡福智町・田川郡糸田町・田川郡大任町・田川郡川崎町・田川郡香春町・田川郡添田町・田川郡赤村     |
| 佐賀県支部      | 牧瀬 支一郎(69・電子) | 佐賀県全域  |
| 長崎県支部      | 松尾 裕幸(72・機械)  | 長崎県全域  |
| 大分県支部      | 柴田 廣樹(73・通信)  | 大分県全域  |
| 熊本県支部      | 中本 龍二(76・通信)  | 熊本県全域  |
| 宮崎県支部      | 猿渡 三喜男(75・機械) | 宮崎県全域  |
| 鹿児島県支部     | 増水 紀勝(67・電子)  | 鹿児島県全域   |
| 沖縄県支部      | 宮城 洋一(75・通信)  | 沖縄県全域  |

山口県支部会員のみなさまへ  
**令和2年度 山口県支部総会・懇親会は中止致します。**

福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部 学長挨拶

学長 下村 輝夫



会員の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃、学生への経済的支援などご尽力賜り感謝申し上げます。

今年のご存知のように新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、社会のシステムのすべてが試行錯誤の状況となりました。教育機関も例外ではなく、対面授業とオンライン授業の併用を余儀なくされました。改めて、大学とは何か、短期大学とは何かの本質を問われる事となりましたが、本学園に於いては「建学の綱領」と「For all the students」の理念を再確認し、教職協働で遺漏なきよう対応を図っているところで

母校は同窓会会員の皆様のご支援のおかげで、順調に発展を遂げております。機会がありましたら、是非一度母校を訪ねて輝かしい青春を思い起こして下さい。母校を愛するということは、現在の仕事や生活において励みになる筈です。私は大学および短期大学というところは、夢を育み、物事の本質を探究し、生涯の友を得るところだと思えます。特に、最後の人的ネットワークは人生に不可欠な知的財産と言えます。この知的財産の具現化が同窓会であると言っても過言ではないでしょう。

私学の神髄は自主独立にあります。このためには学園と同窓会との強い絆が求められます。これからも何卒よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。末尾ながら、会員皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生 (昭和45年電子工学科卒)



同窓会の皆様、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年には新型コロナウイルス禍により世界中の国々が感染防止に翻弄され、憂にも絶望も感じないで種々の施策が行われております。一日も早く新型コロナウイルスとの安定した共存ができる社会を願っています。

本年度開催予定の「交流会」は、コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、皆様の健康保持を第一に考えて中止となりました。定時社員総会では代議員が一堂に会しての総会に替えて、書面による決議を行うこととし、議案7件全てが議決されました。代議員の皆様ご協力ありがとうございました。

「FIT MUSEUMの現況」

同窓会の50周年記念事業として取り組んでいます「FIT MUSEUM(音とモノづくりの歴史資料館)」は機器の展示作業も完了し、開館を待つ状況です。しかし、開館時期については、コロナ禍が収まり来場者の安全確保の目処がつかず延期の予定です。開館の暁には皆様に見学いただき、ご理解ご支援の力で「FIT MUSEUM」を雄飛会のブランドとして育てていただきたいと思います。

「困窮学生支援について」

コロナウイルス禍により、母校は後期に入ってもクラスター発生防止のため、学生に対しては主にオンラインによる遠隔授業が行われている状況です。緊急事態宣言が解除された後も経済活動の自粛が続く中、後輩達はアルバイト等が制限され経済的な生活不安を抱えながら頑張っており、後輩達のこの未曾有の危機に対し、同窓会として支援を検討、窮状の緩和策(救済支援金として800万円を拠出)を6月の総会(書面決議)に諮り、代議員全員の賛同を頂きました。この救済支援金は国の補助金制度を活用する形で学校を経由して困窮学生に給付されます。内容は、支援額一人10万円・対象者350名で10月1日から受付が始まりました。ご協力に感謝申し上げます。

「同窓会本部の現況」

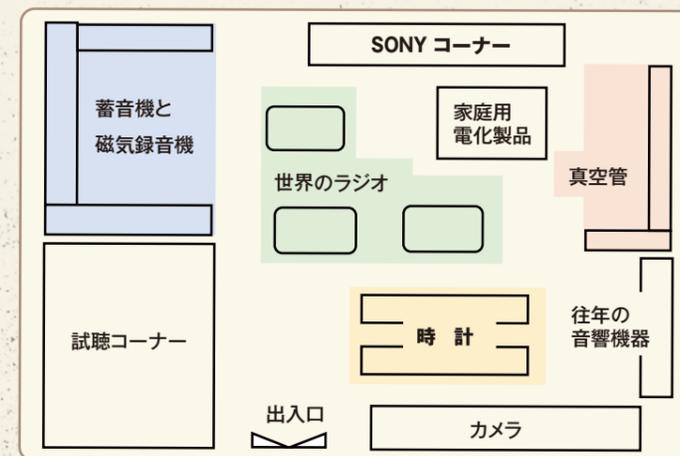
- ①今年中止になりました「交流会」は令和3年6月に広島にて開催予定です。
- ②理事が1名増えて7名体制となりました。新任は84年通信卒「本行義洋」氏です。
- ③代議員退任者北村敏幸氏(26年間)、松岡伸一郎氏(16年間)両氏には代議員として同窓会発展のために長きに亘りご尽力いただきました。感謝申し上げます。
- ④宮崎県支部統廃合について、延岡支部と宮崎支部が合併し、令和2年度から宮崎県支部としてスタートしました。
- ⑤会報「雄飛」の全会員様への紙媒体での配布は、今年度で最後になります。令和3年度以降はホームページ掲載のみにいたします。ご理解ご協力よろしくお願い致します。
- ⑥同窓会は今年55年を迎えます。母校の発展なくして同窓会単独での発展はあり得ません。我々同窓生にできることは、入学志願者を増やすことや就職先の斡旋などの支援です。小さな情報でも集まれば大きなパワーになります。ご協力をよろしくお願い致します。

「母校の現況」

- ①入学志願者数が14年連続で増加記録更新中、一般入試の難易度が年々高くなっています。
- ②就職関連指標は全国トップレベル、上場企業・大手中堅企業への就職シェア率72.4%を示しています。
- ③教育・研究への積極投資を推進しながらも15年連続して経常収支黒字を維持。経営・財務運営について格付会社(R&A、JCR)により「A+」と高い評価がなされています。
- 上記の他にも「人材育成の教育力」「社会の様々な課題解決に貢献」など学外からの評価も年々上がり、他大学に負けない素晴らしい発展を続けています。

結びに、「雄飛会」が皆様のご理解ご協力で盤石な組織となり、「皆様の拠り所」になることを切に願っております。

# F I T M U S E U M



音とモノづくりの歴史資料館 MAP



## 新装「音とモノづくりの歴史資料館」

平成22年11月に現在の本部棟にオープンして以来10年が経過した「音とモノづくりの歴史資料館」の改装工事が完了し、展示数を改装前の八五〇点から二〇〇点へと大幅に充実させて装いも新たにFIT MUSEUMとしてリニューアルしました。

当初、四月のオープンを予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現在まで開館を見合わせているところです。

FIT MUSEUMでは、音響、時計、カメラ、および真空管など、ここ二四〇年の間に製作された歴史的に非常に価値ある機器を動態保存しています。一〇〇年以上前に製作されたエンジンのレコードや今では

ほとんど目にするのできない銅線式録音機の原音、試聴コーナーでは往年の名機による演奏を実際に体験することが出来ます。また、従来の展示コーナーに加え、受付ホールに新たに企画展示コーナーを設けており、今後更なる展示の充実を図ってまいります。

FIT MUSEUM内に歓談の場として寛げる「憩いのスペース」を設けておりますのでご利用ください。多くの方のご来館をお待ちしています。

なお、開館時期については大学ホームページをご確認ください。

また、今年度より、新たにFIT MUSEUM事業部が新設され、外山理事が担当理事として就任しました。



# あの先生は今

最後に、母校の益々のご発展と、合わせて皆様様の健勝を心から祈念致します。

買っています。日々結構多忙ではありますが、少しの野菜を植えて匂いの味を楽しんでいます。

敷地内の空き地には雑草を茂らせ、温暖化対策に一役買っています。

服用もなく小腸を保っています。

数年間にわたる痛み止めの大量投与とリハビリで、少し楽になりました。

体が硬くなる以上に柔軟性を保持すれば良からうとの理屈で、全身の柔軟体操を開始。

略々毎日、60〜90分の体操に励み、今のところは薬の敷地内の空き地には雑草を茂らせ、温暖化対策に一役買っています。

最後に、母校の益々のご発展と、合わせて皆様様の健勝を心から祈念致します。

病気や虫害も出にくいのです。

近づくに置いておくだけで、ゆっくり分解されるため、

いのです。土にすぎ込まずに上から振りかけたり苗の

きには必要に応じて米ぬかや油かす、草などを補うとい

りずに作物がうまく育たないことがあります。そのと

従来から自然農に切り替えると、地中の養分が足

ように、自然の営みに沿うように見守れば育つのです。

きののが毎年のように生えてきます。野菜や米も同じ

なないので、山の木は大きく育ちやがて森になり山菜や

薬を用いない。自然農では耕したり肥料を与えてい

難しく、いつまでも学びが必要なのです。③「肥料と農

なったり虫が集まってくる。最低限の補いや管理が

り、草を刈り過ぎたりするとバランスが崩れて病気に

ない存在なんです。人間の都合で肥料分を補いすぎた

を生かして、一体の営みをしており、お互いに欠かせ

の死体と重なっていく亡骸の層となって、時を重ねる

ほどに豊かになってゆきます。自然農を始めた土地が

その適地になるには年月が必要です。②「草や虫を敵

としなない」草が小動物を生かし、小動物が作物や草

を食して、一体の営みをしており、お互いに欠かせ

ない存在なんです。人間の都合で肥料分を補いすぎた

り、草を刈り過ぎたりするとバランスが崩れて病気に

なったり虫が集まってくる。最低限の補いや管理が

難しく、いつまでも学びが必要なのです。③「肥料と農

なったり虫が集まってくる。最低限の補いや管理が

難しく、いつまでも学びが必要なのです。③「肥料と農

## 学園歌

あ、玄海に陽は落ちて  
紫紺にかすむ立花の  
馨床しき峯の色  
学徒の夢をそゝるかな  
雲はるかなる北洋や  
仰ぐ北斗のまたたきに  
想いは遠し故郷の  
山河新たに胸に沁む  
さあれ若人永遠に  
汝が生命は火と燃えて  
行くや世界の真原理  
貫きとめん福工大

# 活躍するOB・OG

「立花宗茂と間千代」NHK大河ドラマ  
招致委員会実行委員

杉尾 民則(道雪会会長)  
(昭和45年電子工学科卒)



「立花山讃歌」  
立花山を朝に夕に見続けて58年、私はどれだけこの立花山に励まされ、癒され、勇気をもらったことか。  
愛して止まぬこの立花山を東に見て、私も大学の創立者桑原玉市先生は現在母校がある和白ヶ丘に立ち、これからは電子工学の時代だと確信のもと建学されたのである。

そして、西の玄海、海に夕陽が落ち行くその情景の美しさを、そしてその志を今も歌い続けられる学園歌に記された。「嗚呼、玄海に陽は落ちて、紫紺に霞む立花の、馨ゆかしき峰の色、学徒の夢をそゝるかな」福岡工業大学学園歌(一番)

ここに歌われている、紫紺に霞む立花山には重要な城があった。立花山城という。

立花山城は1330年、足利尊氏の盟友、大友貞載(さだとし)によって築城。初代城督立花貞載と改名、西の大友と謳われ筑前支配の重要な役割を果たす。応仁の乱以後は博多の支配権を巡って激しい争奪戦が繰り広げられる。

1568年、第7代城督立花鑑載(あきとし)が毛利元就の支援を受けて、大宰府宝満城督高橋鑑種(あきたね)と共に反旗を起す。秋月・宗像・原田同調する。

この乱を鎮圧したのが大友第一の猛将戸次鑑連(後の立花道雪)である。その後毛利氏との激しい立花城争奪戦が繰り返されるが、戸次鑑連らの活躍で立花城は大友家が奪還する。大友宗麟、戸次鑑連をして立花城督となす。1578年、大友宗麟日向高城、耳川の戦いで島津氏に大敗北これにより大友家は洞落の一途を辿る。覆返り、裏切りの相次ぐ大友勢力の中で、一途に大

友家に義を貫き通したのが、この鑑連(道雪)と親友の高橋紹運である。高橋紹運の長男統虎(後の立花宗茂)を道雪娘の間千代の婿養子とし立花を継がせ、道雪は大友の復権を期し高橋紹運と共に筑後に陣、筑後をほぼ平定するも柳川城を抜かず、1585年9月11日筑後北野(久留米)の陣中にて病死、73歳の戦い続けた一生を閉じる。また1586年7月、宗茂実父の高橋紹運も迫りくる島津の大軍5万の兵に岩屋城(太宰府市)にて763名の寡兵にて勇猛果敢なる攻防戦にて島津に大打撃を与える玉砕戦を行う。次に攻められる立花城の宗茂を守るため、また大友に義を通す為。

その後立花山城の攻防戦となる。宗茂3千の兵で島津4万5千の軍との籠城戦に突入する。島津軍も慎重にならざるをえず、日数を重ねる内、豊臣秀吉援軍到着する。島津軍退却に移る。宗茂、期を逃さず追討戦を行い、多大の戦果を上げる。これを秀吉に西国無双と称され、柳川13万石の大名となる。しかし、1600年関ヶ原合戦で西軍につき、敗戦の将となり領地没収、立花家離散、浪々の身となる。しかし20年後、柳川の旧領回復の奇跡の復活を遂げる。出世、敗北、浪人、復活と歴史に奔走され波乱万丈な生涯を送りながらも人生を諦めず、人として義とは何か・道理とは何か・信とは何かを問い続けながら自分を貫き通した宗茂であった。

私はこの道雪、紹運、宗茂の生様は目の前に聳える立花山の奥の深さと優しさもつ生涯であり、母校の学園歌に重なる。

「さあれ若人永遠に 汝が生命は火と燃えて 行くや世界の真原理 貫きとめん福工大」己の信念を、自己の信じる道を高く掲げ、我が命を火のように燃やし突き進むと励まします。

素晴らしい学園歌があり、建学の綱領がある。後輩の皆様がますますのご活躍と母校の発展を心より祈念いたします。

元電子情報工学科 講師

小池 勲  
(昭和42年電子工学科卒)



## 自然農の理に沿って野菜作り

2010年3月末の退職後、畑を借りての野菜作りに挑戦しています。川口由一氏が確立された自然農の理を簡単に述べます。①「耕さない」耕さなければ、土中の小動物や微生物、土壌菌などが壊されず、自ずから最善の状態でそこに在ります。耕さなければ、地中だけでなくその上でくりひろげられる植物や小動物の死体と重なっていく亡骸の層となって、時を重ねるほどに豊かになってゆきます。自然農を始めた土地がその適地になるには年月が必要です。②「草や虫を敵としなない」草が小動物を生かし、小動物が作物や草を生かして、一体の営みをしており、お互いに欠かせない存在なんです。人間の都合で肥料分を補いすぎたり、草を刈り過ぎたりするとバランスが崩れて病気になる。最低限の補いや管理が難しく、いつまでも学びが必要なのです。③「肥料と農薬を用いない」自然農では耕したり肥料を与えていないのに、山の木は大きく育ちやがて森になり山菜やきのこが毎年のように生えてきます。野菜や米も同じように、自然の営みに沿うように見守れば育つのです。従来の畑から自然農に切り替えると、地中の養分が足りずに作物がうまく育たないことがあります。そのときは必要に応じて米ぬかや油かす、草などを補うとい

株式会社ヤナギヤ

仲田 徳厚  
(昭和58年電子機械工学科卒)



## 60歳に成っても研究生

卒業後、私の地元宇部市の食品機械メーカーに入社し「おいしいを作る機械屋さん」をフレーズに様々な食品に携わってきました。中でも魚を主原料とする力二力マ(力二風味かまぼこ)やエビ力マはダイエツトブームにも乗り国内以上に欧米で大ヒットし装置輸出も続いています。

また、近年力二力マやエビ力マは「フエイク」で有りながら、より「リアル」な商品形状が求められ、本物そっくりの剥き身に仕上げるには、特徴である赤身と白身が巧みに絡む表現可能な高精度の着色技術が必要でした。

そこで、6年前に母校情報工学科部の松尾研究室を訪ね相談しました。福工大の特許である「静電誘引インクジェット方式」の印刷技術を用いた食品用赤色系着色プリンターを新たに開発する事を思い付いたからです。

そして、教授や研究生の皆さんと試験を重ね、また学食での意見交換は、私を部活に没頭していた時代へと引き戻させて貰えました。

そして、生き生きと開発が進み全国放送のテレビ番組にも取り上げられる程の成果を出す事が出来ました。

私には今も付き合う本卒の友が3人居て、この話をすると、皆つらやましがります。

そして、今の目標は、今後大量に必要と成るであろう「DNAワクチン」生産の為の新たなPCR装置の開発を地元大学と共同で取り組んでいる真最中です。ここでも若い研究生と一緒に、同じ目線で悩む日々がとても楽しく嬉しく感じております。

### 組織支援部よりお知らせ

**同窓会会員管理システム移行に伴う、氏名の表記の統一について**

これまで、氏名に、漢字の特殊な字体である「異体字」や「旧字」を使用されている方は、外字や手書きにて対応してまいりましたが、管理システム移行に伴い、コンピュータにて使用できる一般的な字体に統一いたします。

なお、変換できる類似文字が見つからない場合はカタカナ表記等に置き換える場合がございます。

対象者の方には「迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。」

### 企画・広報部よりお知らせ

**紙媒体による会報発行中止のお知らせ**

同窓会では、これまで年一回、会報を発行してまいりましたが、昨今の状況(宛先不明による返却や受取拒否の連絡など住所管理が困難、郵送料や印刷代の値上がり等)を鑑み、紙媒体での発行を中止し、来年度からはホームページ上でのみご覧いただくことを検討しております。

お手元に届く会報を楽しみにしていただいている会員の皆様には申し訳ございませんが、ご理解とご了承をいただきますようお願い申し上げます。

## 同窓会からのお知らせ

### 学生支援部よりお知らせ

**経済的修学支援金 800万円を寄附**

新型コロナウイルス感染症による影響等を踏まえ、経済的に負担を抱える学生への支援として800万円を母校へ寄附し、10月13日にその目録の贈呈式を行いました。



写真左:小柳会長 右:下村学長

## 同窓会会員子弟の受験料免除について

福岡工業大学および福岡工業大学短期大学部の同窓会会員(在学生を含む)の子供、兄弟姉妹が本学の入学試験を受験される場合は、**すべての受験料が免除**の対象になります。

| 入試区分   |  | 受験料            |
|--------|--|----------------|
| 大<br>学 | 普通科選抜、専門・総合学科選抜、<br>スペシャルスキル選抜、専願制総合型選抜、<br>3教科型選抜 | 30,000円        |
|        | 共通テスト併用型選抜(社会環境学部のみ)                               | 5,000円*        |
|        | 共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)                                | 15,000円(4学科まで) |
| 短<br>大 | 普通科選抜、専門・総合学科選抜、<br>自己推薦選抜                         | 25,000円        |
|        | 一期A・B、二期   | 25,000円        |
|        | 共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)                                | 10,000円        |

\*但し3教科型選抜(社会環境学部)を受験していること。

免除を希望される方は、インターネット出願の入力画面に従って、同窓会会員の方の情報を入力してください。(卒業年度、卒業学科、続柄等)

■問合せ先  
福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部 入試課  
TEL: 092-606-0634(直通) FAX: 092-606-7357 e-mail: nyushi@fit.ac.jp

### 学園の歴史探訪

#### ~其の六~

## 電子工業大学から福岡工業大学への校名変更について

一般社団法人 雄飛会 福岡工業大学同窓会 事務局長  
桑原 雅浩(昭和58年電気工学科卒)



今こそ、福岡工業大学の知名度は九州一円に止まらず全国にその名は浸透しつつあるものと考えます。これもひとえに入試広報部を始めとする事務局各部門のマスタープランに遵守する計画的且つ、情熱的な取り組みのお陰であると同時に、教学サイドの教授の皆様方による社会の要請に応えた高度な教育研究活動のお陰であると認識しています。

校名変更に関しては、今から55年ほど前の昭和40年に学生部厚生課 課長であられました小山正栄(こやまささ)氏が理事長(創立者)に九州工業大学に準じて電子工業大学の「電子」を「福岡」に変えて福岡工業大学と改名してはどうでしょうか、進言されました。校名に「福岡」を入れている方が学園の知名度向上に繋がること期待される。加えて、学園は地のり的にも福岡市東区に位置しており、JR鹿児島本線の沿線にキャンパスを構えている点などを踏まえると福岡市の発展との連動性から、将来性があり、学園の更なる発展に必ず繋がりますとのこと。

今後、「福岡」を校名に付けたくとも、簡単に付けにくくなる旨、理事長に重ね重ね懇願をされて昭和41年4月より福岡工業大学と校名を新ためることが決定したのでした。

小山正栄氏の進言は、今に思えば学園発展の一翼を十分に担われたものと思料します。改めて小山正栄氏の校名変更の進言に対しまして、遅ればせながら深く感謝する次第であります。加えて小山正栄氏について少し紹介しておきます。当人の著書に「えれきてる物語」(日本電気研究者列伝)と云う書籍があります。この書籍の執筆の動機について小山氏は、「この物語は高等学校生徒、大学教養課程の学生を対象に考えて執筆したと述べてあります。とにかく、電気工学や電子工学を

専攻している学生でありながら、日本人で、すなわち私たちの先輩で電気を研究した人を知っているかと尋ねても、案外と知っていない。平賀源内は知っていても、橋本雲斎になると誰も知らない。「福沢諭吉も電気の研究者だよ」と説明すると眼を白黒させている。「これではならぬと云うのが執筆の動機でした」と回想されておられます。また、この物語は、九州電力社長瓦林潔先生のご後援を得ており、小山氏は、誠に感謝に堪えませぬ旨、書籍の巻頭に感謝の意を記されておられます。

更に、小山正栄氏の経歴を記しておきます。①明治41年佐賀県に生まれる。②大正14年文官普通試験に合格。郷里の県立唐津中学校に勤務。③昭和13年、福岡県に転勤、地方事務所長、本庁課長、農林事務所所長を経て、東京事務所長、衛生部次長、農協講習所所長を歴任。その後、福岡工業大学学生部厚生課 課長、日本科学史学会会員、福岡地方史話学会会員。

著書には、「亀井南冥の生涯」「大原幽学伝(幽学物語)」「高橋是清の青年時代―唐津藩洋学校教師の頃」「人間創造」発表などがあります。

追伸 以上の小山正栄氏の校名変更提言のエピソードにつきましては、同窓会の元会長であられました百原武俊先生(情報工学部・情報工学科助教)に伺ったものです。百原先生が学生時代に小山氏より直接伺ったことを、同窓の皆さんにも伝えるべきとの使命感で、誠に勝手ながらこの度の会報27号の記事として投稿させて頂きましたことを申し添えます。百原先生には貴重なお話しを頂き、心から感謝致します。紙面を借りて深く御礼を申し上げます。

以上

## 第一応援歌

風荒れさわぐ玄海の  
海波ひとたび怒りなば  
朔北の雄福工大  
闕下にいどむ戦いに  
勝利の戦旗奪わんと  
盟友会す決戦場  
工大 工大 若き工大

あ、団結の力こそ  
今激闘の唯中に  
栄光かけていざ征かん  
決死奮戦倒るとも  
断固と護れ青き旗  
鮮血にじむ学園旗  
工大 工大 若き工大

ライトブルーの旗の下  
天下の雄を摺伏し  
あげるかちどきたからかに  
きけ玄海の唯中に  
ひとり雄叫ぶ福工大  
万古の歴史きずかんや  
工大 工大 若き工大

# 母校からのお知らせ

## 「コロナ禍における母校の状況 (授業等)および取り組み」について

福岡工業大学 教務部 教務課  
課長 北原 雄  
(昭和62年管理工学科卒)



師走の候、同窓会の皆様にかかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本学の教育への取り組みに関しご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、本年急速に拡大した新型コロナウイルス感染症は、全世界に甚大な災禍をもたらす、今なお終息の見えない状況にあります。国内においては、今春、政府より緊急事態宣言が発令され、休業要請や県を跨ぐ移動の自粛要請が出されるなど、社会生活に未曾有の事態が発生しました。この事態は教育現場にも大きな影響を及ぼし、本学では前期授業開始の延期や感染防止のため遠隔授業での実施を余儀なくされました。授業開始遅延による授業時間の確保や遠隔授業への移行、そして感染防止策など、これまで経験したことのない対応に苦慮しましたが「For all the students」すべての学生生徒のために「」の理念のもと、学生の安全・安心を念頭に、学修機会と質の確保のため教職員が一丸となり様々な取り組みを行ってきたところです。

その中でも特に注力した点は、感染防止策と遠隔授業の環境整備です。実験・実習など対面式で実施する授業においては、フェイスガードやシールドパーティション等を配布し、演習室等には換気向上のため大型のサーキュレーターを設置しました。更に学食など共有スペースにサーモカメラを設置し、各自での体温チェックを可能とするなど感染防止に努めました。また、遠隔授業の実施に当たっては、学生が受講しやすいよう使用ソフトウェアの統一を行うと同時に、学生の受講環境の調査と整備サポートを行い遠隔授業の環境整備に努めました。

後期も継続し遠隔授業を実施しておりますが、感染防止策を十分に施して「対面授業」を拡大していきたい。通常の学校運営を目指し、教職員一同、取り組んで参りますので、今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、ワクチンの開発など一刻も早い感染防止策が講じられ、皆様が安心して生活できますことを心より祈念しております。

## 「コロナ禍における母校の就職活動状況および取り組み」

福岡工業大学 就職部  
事務部長 三澤 礼一郎



同窓会の皆様には、日頃より学生への多大なご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。それでは本学の就職状況について、ご報告いたします。

本年2020年度の就職活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、前年度までの状況からまさに一変し、全国的に大きな影響を受けております。本学では3月に開催を予定しておりましたが、西日本最大規模の学内合同企業説明会を、学生・企業の皆さんの安全面を最優先に考慮し、止む無く中止いたしました。特に、4月の政府による緊急事態宣言以降は、かつてない各種の行動制限などが求められる中、学生が企業へ直接出向いて情報収集する機会が失われ、就職活動が大停滞を起しました。本学ではこの急激な環境変化を捉え、ポストコロナを見据えた就職支援に迅速に取組んでまいりました。具体的には、ITなどのコミュニケーションツールを活用した、オンライン企業説明会、Web学生相談、Web模擬面接、企業採用情報の収集とWeb公開など、工業大学ならではの取り組みに、いち早く着手いたしております。現在では、感染防止策を取りながら、対面型の学内企業説明会・選考会も再開しており、先のオンライン型と併用したハイブリッド型での支援を展開しています。

就職率は一時期、前年比で最大で▲20ポイント以上大きく下回りながら推移し、極めて厳しい状況でしたが、直近9月末の就職率は約90%(前年比▲6ポイント)と、ようやく前年度水準に近づきつつあります。当面は不透明な状況が予想されますが、本学では学科別担当職員による学生一人一人に応じた丁寧な支援と、全学一丸となった支援態勢で「最後の一人まで！」の思いで、学生の進路決定に注力してまいります。また、今般のコロナ禍を教訓として、環境の変化に柔軟に、そして確実に対応できる態勢を構築してまいります。同窓会会員の皆様におかれましては、引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 後期授業がスタート 対面講義実施へ

### 感染拡大防止のため、学生たちの受け入れ体制を全力で整備しています。

大学の後期授業が本格的に始まりました。新型コロナウイルスの影響を受けてオンライン授業が中心になっていた前期とは異なり、本学では感染拡大防止策を徹底しつつ「対面授業」の実施比率を高めるべく取り組みを進めています。オンライン授業と併用しつつ、実技や実験などの授業で全ての学生が毎週必ずキャンパスに登校できることを目指して、学生の学ぶ機会を確保できるように、全力でキャンパスの整備を行っています。

対面授業の再開のため、特に学生たちが集う学生食堂「オアシス」では万全の感染拡大防止策を実施しています。体温を自動計測するサーモカメラを入り口に設置。400枚の仕切り板を設置して各座席を仕切りました。現金の手渡しを避けるため電子マネーの決済端末も新たに導入するなど、学生たちが集える環境を整えています。

授業を行う各教室では手指消毒&マスク着用の徹底。学生相談コーナーなど学生が集まる場所には非接触式体温検知器を設置しています。福岡工業大学ではこれらの新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、本年度約5000万円を投入予定です。

